

# (大阪市内河川) 水面から桁下までの高さ情報

## 橋梁位置図



## 利用上の注意事項

- ・本資料は、水の回廊（堂島川、土佐堀川、木津川、道頓堀川）の橋梁のうち、桁下高が特に低い橋梁の情報を示した資料です。
- ・大阪市内河川を通航する際には、事前に大阪湾潮位と橋梁の桁下高を確認し、安全に通行できるよう、航行計画を立ててください。
- ・なお、掲載している橋梁の桁下高さは、平成18年（一部平成25年）の測量時のものであり、地盤沈下等により変化する場合がありますので、現地の状況に注意して自己責任のもとご利用ください。

■大阪湾潮位（気象庁HP）

<https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/db/tide/suisan/suisan.php?stn=OS>



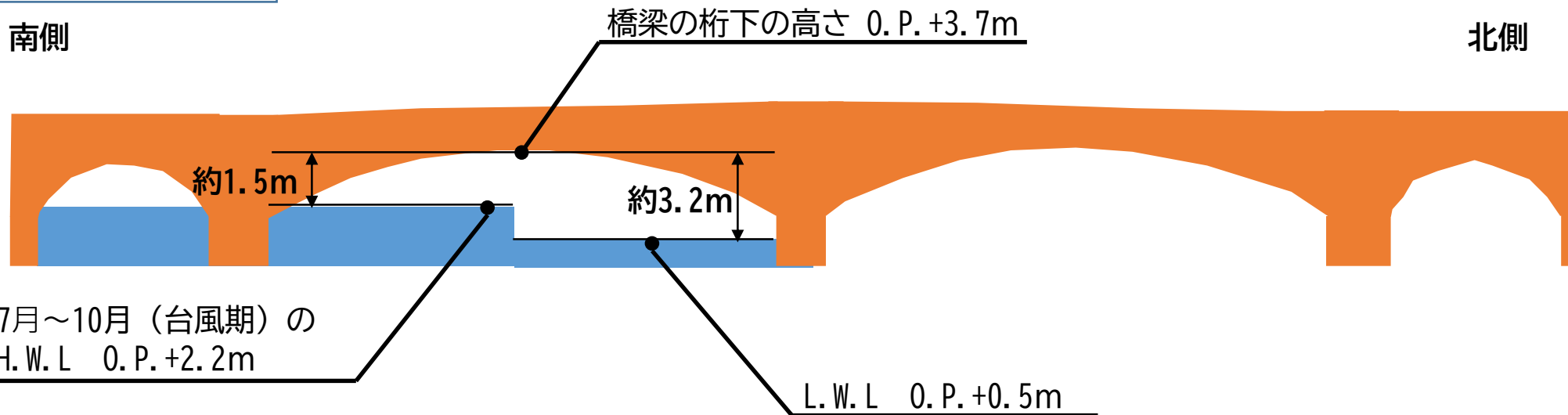
## 用語説明

<p>O. P. (Osaka Peil )</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪湾最低潮位の略称</li> <li>・大阪湾の最低潮位をO. P. ±0.0mと定義したもの</li> </ul>
<p>H. W. L (Hight Water Level)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朔望平均満潮面のこと</li> <li>・朔（新月）および望（満月）の日から5日以内に現れる各月の最高潮位を平均した水面</li> </ul>
<p>L. W. L (Low Water Level)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朔望平均干潮面のこと</li> <li>・朔（新月）および望（満月）の日から5日以内に現れる各月の最低潮位を平均した水面</li> </ul>

# 大江橋

南側

北側

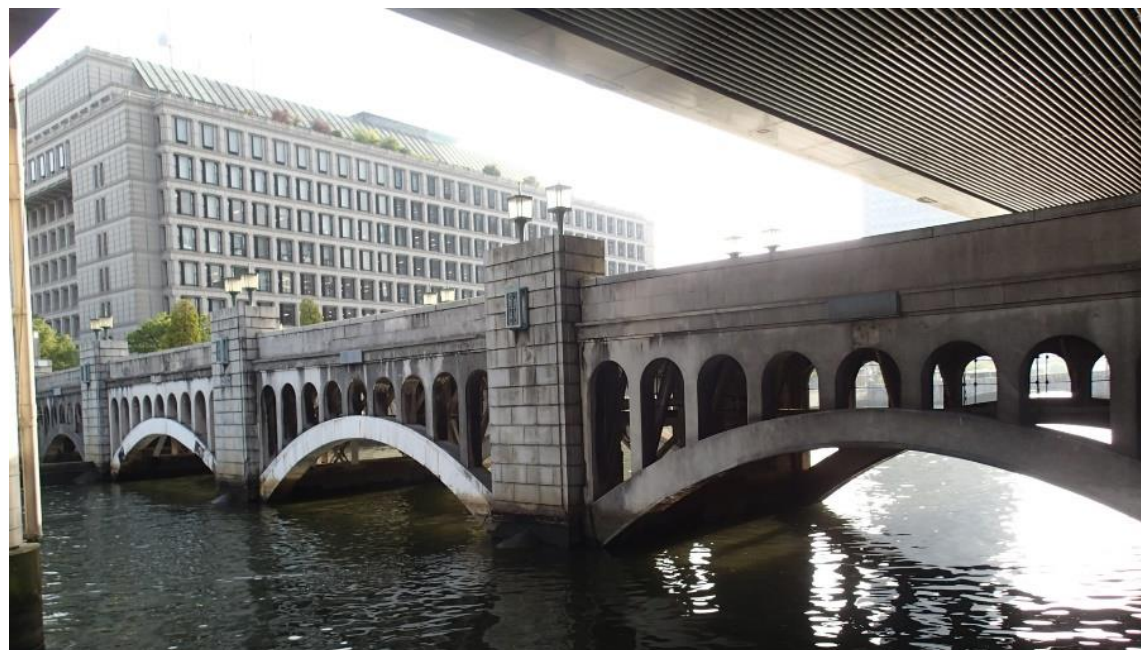
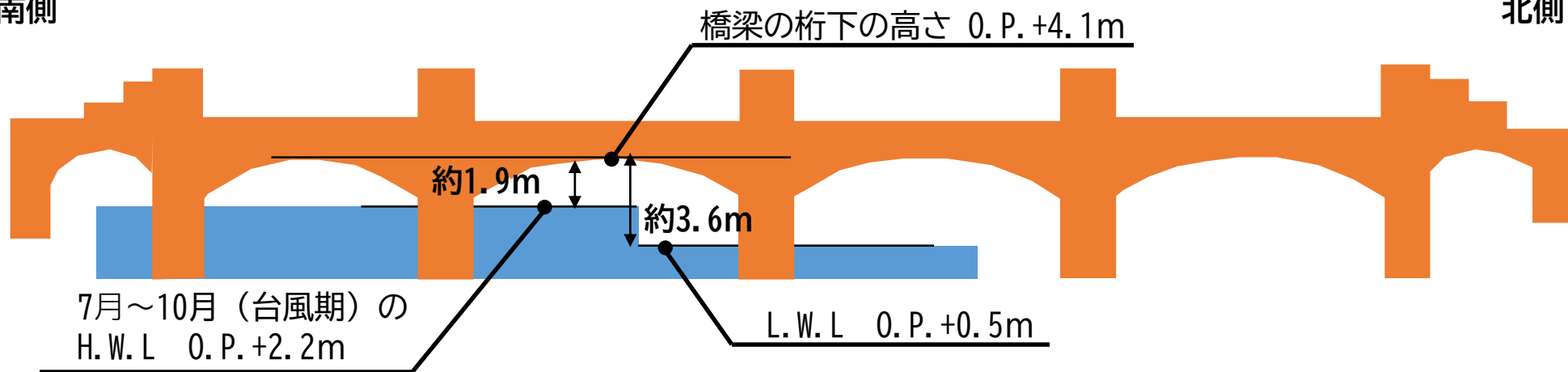


※掲載している橋梁の桁下高さは、平成18年の測量時のものであり、地盤沈下等により変化する場合があります。  
また、異常潮位や波の影響により、水面から桁下までの高さは変化しますので、現地の状況に注意して自己責任のもとご利用ください。

# 水晶橋

南側

北側

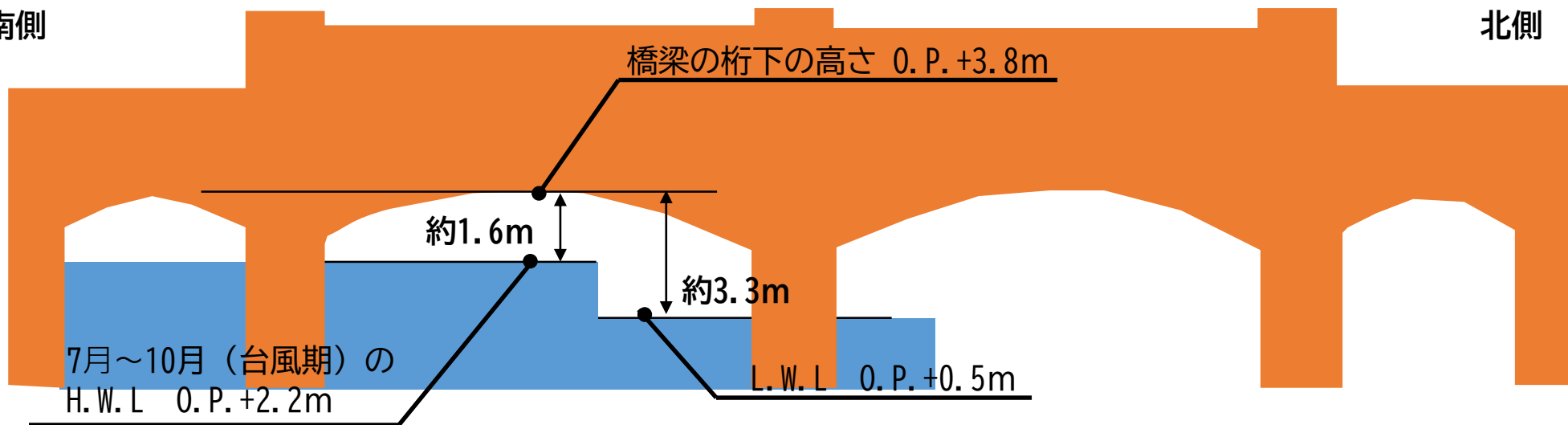


※掲載している橋梁の桁下高さは、平成18年の測量時のものであり、地盤沈下等により変化する場合があります。  
また、異常潮位や波の影響により、水面から桁下までの高さは変化しますので、現地の状況に注意して自己責任のもとご利用ください。

# 錦橋

南側

北側



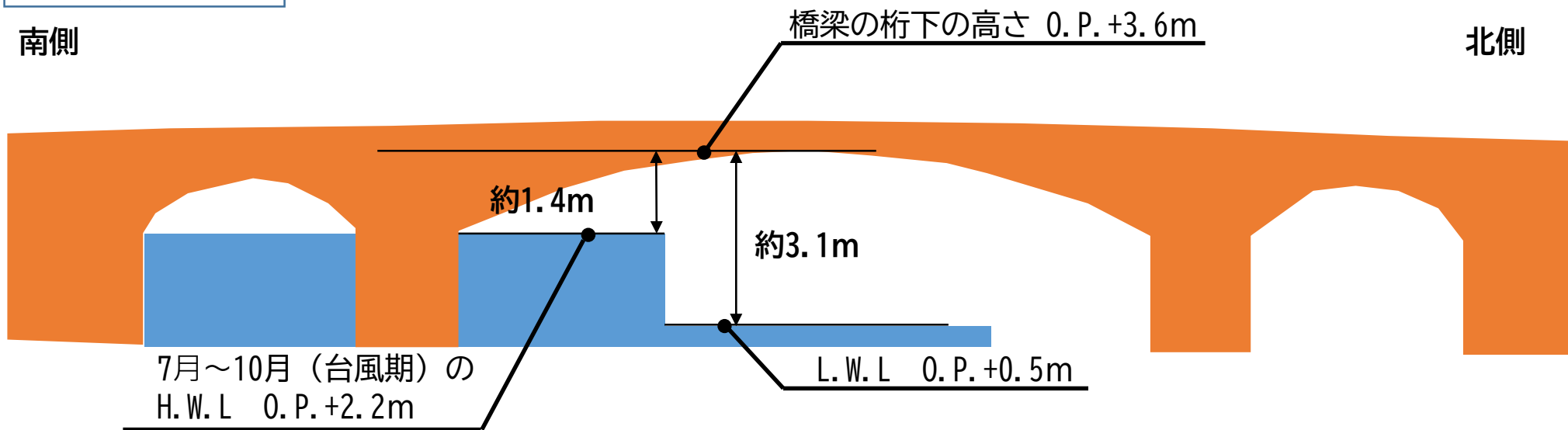
※掲載している橋梁の桁下高さは、平成18年の測量時のものであり、地盤沈下等により変化する場合があります。  
また、異常潮位や波の影響により、水面から桁下までの高さは変化しますので、現地の状況に注意して自己責任のもとご利用ください。



# 淀屋橋

南側

北側

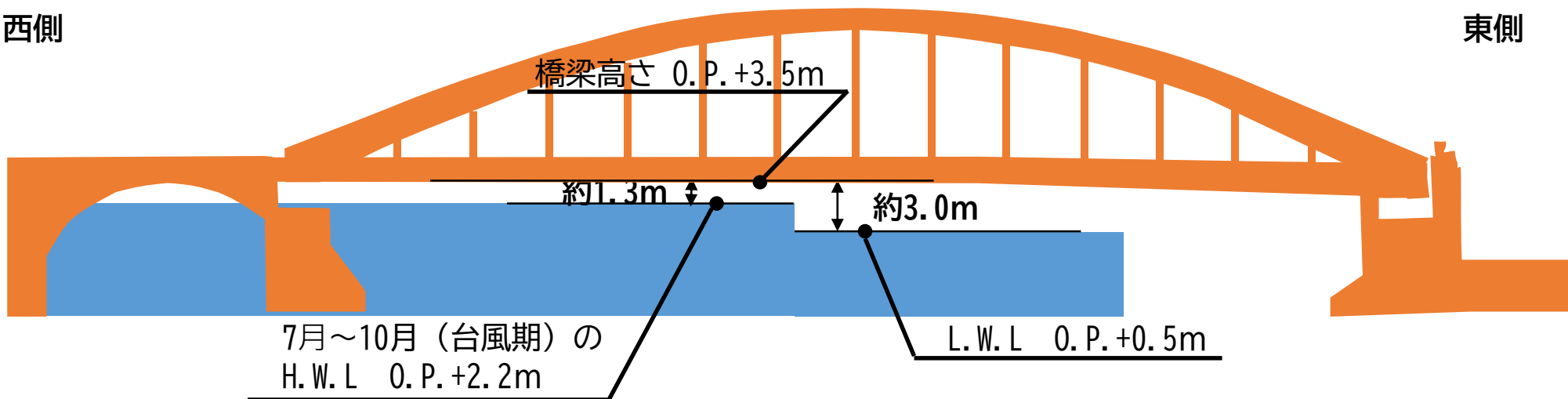


※掲載している橋梁の桁下高さは、平成18年の測量時のものであり、地盤沈下等により変化する場合があります。  
また、異常潮位や波の影響により、水面から桁下までの高さは変化しますので、現地の状況に注意して自己責任のもとご利用ください。

# 昭和橋

西側

東側

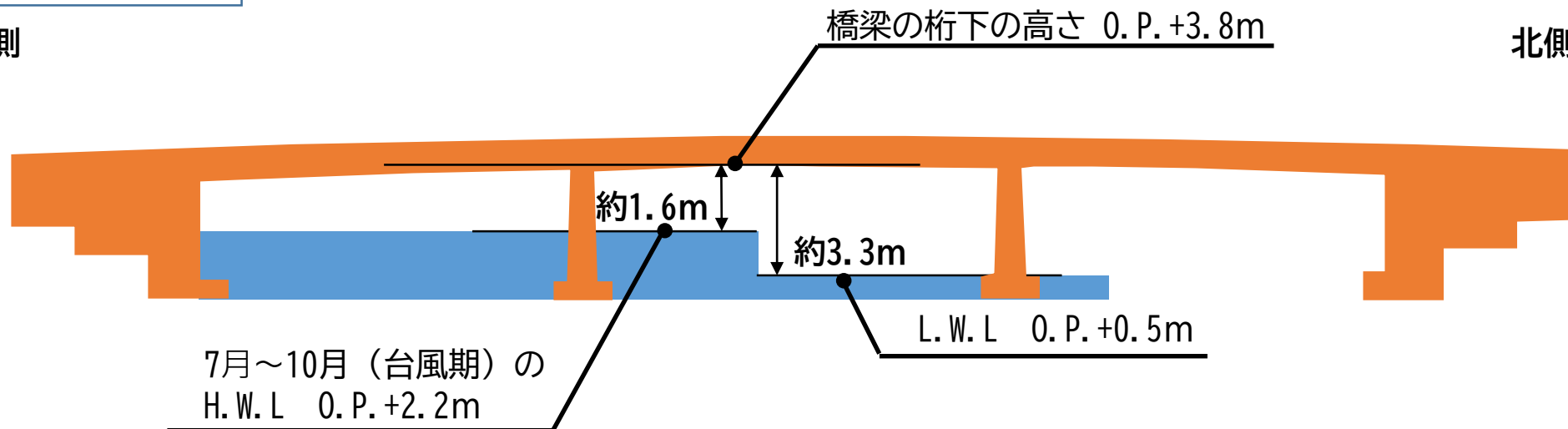


※掲載している橋梁の桁下高さは、平成25年の測量時のものであり、地盤沈下等により変化する場合があります。  
また、異常潮位や波の影響により、水面から桁下までの高さは変化しますので、現地の状況に注意して自己責任のもとご利用ください。

# 住吉橋

南側

北側



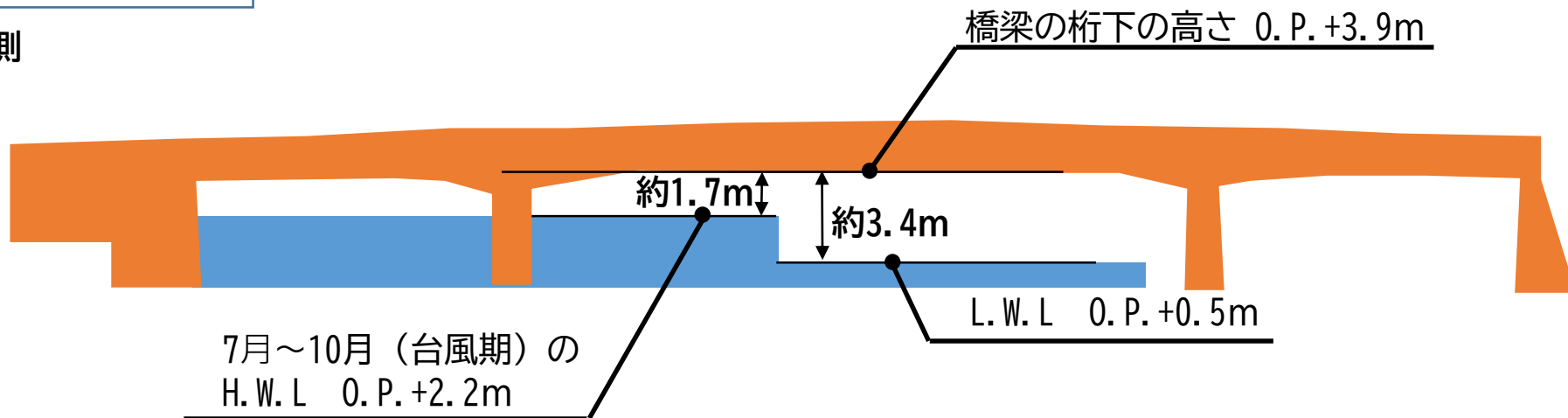
※掲載している橋梁の桁下高さは、平成18年の測量時のものであり、地盤沈下等により変化する場合があります。  
また、異常潮位や波の影響により、水面から桁下までの高さは変化しますので、現地の状況に注意して自己責任のもとご利用ください。



# 深里橋

南側

北側



※掲載している橋梁の桁下高さは、平成18年の測量時のものであり、地盤沈下等により変化する場合があります。  
また、異常潮位や波の影響により、水面から桁下までの高さは変化しますので、現地の状況に注意して自己責任のもとご利用ください。